

## 指定管理業務評価結果書

## 1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷市 まびの道
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市中島 2 7 1 4 - 1 番地 名称 社会福祉法人 あけぼの福祉会 代表者 理事長 重利 陽子
(3) 公の施設の所管部署	障がい福祉部 障がい福祉課
(4) 評価対象期間	令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 3 1 日まで

## 2 総合評価結果

(1) 市の評価	<p>今年度は、「コロナ禍での施設運営について」を重視して評価した。</p> <p>コロナ禍の状況においても、利用者に対して安定した作業量を確保することができるよう、新たな就労の場の開拓を行い、就労先が増加している。また、前年度と比較して、利用者も増加している。</p> <p>利用者へのマスク着用の徹底・検温や、定期的な館内の換気・消毒など、感染症対策を十分に施した上で施設運営を行ったことは評価できる。</p>	総合評価
		A
(2) 指定管理者の自己評価	<p>令和 2 年度はコロナで始まり、施設全体が検温、手洗い、消毒と世の中の動き、情報に敏感に対応した年の始まりでした。</p> <p>平成 3 0 年 7 月の豪雨災害から徐々に人の動きが実感でき、地域の方達との交流の広がりにも期待感をもっていました。コロナの影響は、人の動き、交流、連携という部分を分断させ、施設単独での活動が多くなりました。今現在も地域、関係機関との連携が希薄にはなりがちですが、必要に応じた個々の対応は、しっかり取る様に心がけています。</p> <p>就労の部分では、水害を体験した事により、継続可能な事業の見直しに重点を置き、地域内での就労の場の拡大、地域外での就労先を増やすなどの成果が、コロナ禍にあっても事業収入が大きく左右される事なく、個別支援に準じ、工賃の支払いが出来たものと思います。</p> <p>生まれ育った地域のなかで、メンバーの生活の安定、精神の安定を念頭に、関係機関と連携をとりながら、臨機応変に対応</p>	

	出来る施設運営を心がけたいと思います。
(3) アンケート結果の概要	管理運営及び支援内容については、概ね満足している。全体の満足度は93%であった。 アンケート結果については、別紙のとおり。

## 3 施設の利用状況

(1) 利用実績	利用者数 (人)			
		R2 年度	R 元年度	特記事項 (前年比)
	開所日数	256 日	256 日	100%
	延利用者数	5,130 人	4,728 人	108%
	1 日平均	20.0 人	18.5 人	108%
(2) 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農園芸作業</li> <li>・アダプト事業 (岡山県)</li> <li>・倉敷市花苗請負事業</li> <li>・施設外就労 (倉敷きのこ園週 4 回、水島中央病院、倉敷リハビリテーション病院、記念病院、玉島市民交流センター、松田病院、特別養護老人ホームみずき会、ラスパ、ぶどうのたね保育園、水玉車輛)</li> <li>・委託加工作業 (ろうそく組み立て、柏木 (自動車関係))</li> <li>・請負契約作業 (社会福祉施設、老人施設、病院等)</li> <li>・自主制作 (鉢植え)</li> <li>・販売促進活動 (地域、同法人内)</li> <li>・イベント参加 (箭田まちこん、緑化フェア (アリオ)、箭田公民館祭り)</li> <li>・各種研修の実施</li> <li>・レクリエーション (季節行事)</li> <li>・ひまわり号協賛、箭田駅前花壇植え込み、配布</li> <li>・その他 (調理実習)</li> </ul>			

## 4 収支

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 45,907 千円 市からの指定管理料 (委託料) 45,892 千円 その他の収入 15 千円
----------------------	---

(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	36,747千円
	主な支出	
	人件費	30,567千円
	光熱水費	577千円
	施設管理委託費	566千円
	賃借料	307千円
	消耗品費	839千円
	通信運搬費	859千円
その他支出	3,032千円	